

市議会からの要望事項

平成22年度予算を認定するに当たり、市長に対して12件の要望を行いました。

1 雇用促進住宅における情報格差の是正に向け、CATV接続のための条件整備を関係機関へ働きかけるよう努めること。

2 公共施設について、十分に活用されるよう業務内容を広報するとともに、誘導看板を整備すること。

3 記念行事での植樹について、思いを次世代に引き継げるよう十分に管理するとともに、看板等を整備し周知に努めること。

4 教育支援員は負担の大きい仕事であり、実際の採用にあたり、必要な人員の確保に懸念がある。教育支援員について、各学校の要望どおり配置すること。

5 幼稚園、小学校、中学校の規模適正化に努めること。

6 生活保護受給者の実態把握の強化を図り、生活保護費の適正な支給と自立支援に向けてさらに努力すること。

7 経済・雇用対策として平成21年度から3年間予定されている社会福祉協議会等への委託事業については、事業を精査し、実りあるものとする。

8 有害鳥獣被害防止対策について、計画を早急に策定すると共に、県と協議をしながら鳥獣駆除する委託団体と意見交換をして事業を進めること。

9 道路補修等について、道路パトロール等で点検した専門的な観点からの補修事業や地区との調整を積極的に進めること。

10 市内道路の改良工事について、安全で安心して通行できるように、工事着工後の進捗管理を的確に行い、歩道拡張・街灯設置を含めた整備事業を進めること。

11 水門ポンプ管理について、地区・地縁組織へ委託するなど、適切な委託・管理体系を精査するよう努めること。

12 土木費について、予算が厳しい設定となっている。小規模事業は設計段階で遅れ気味になっているが、早期に着工できるように事業の発注の時期などを的確に見極めて進めること。また、補正予算措置（確保）を含め、市内業者の保護育成に努めること。